

# 関西

Kansai Economy

# 経済

## わがまち輝業

## 5本指ソックス 快適さ追求

5本指ソックスの生産・販売を手がける専業メーカー。無縫製など独自の製法を開発し、快適なはき心地を追求してきた。通常のソックスに比べて通気性や保温性が高く、プロスポーツ選手や女優にも愛用する。靴下市場は安価な外国製品が席卷し、縮小傾向にある中で、売り上げは拡大基調にある。

ニッテイド

(和歌山県海南市)



5本指ソックスの製造・販売で成長を続け、販路を拡大するニッテイドの井戸端康宏社長(左)

なかった。だが、手袋メーカーの役員だった創業者が高い機能性に着目。81年に起業し、指にフィットする綿素材の靴下を開発した。

当時は、足蒸れしない点が注目され、工事現場などで働く男

従業員数は約50人。2020年3月期の売上高は9.8億円。アパレル大手や靴下専門店へと販路が拡大し、10年前の約1.5倍に増えた。伸縮性の高い生地を使ったマスクも手がける。

性の人気を集めた。90年代には、冷え性に悩む中高年女性の間でブームになった。足の踏ん張りがきくとの評判が広がり、野球やサッカー、陸上のプロ選手の利用も増えた。最近では、ヨガやピラティス向けの新ブランド「ニッテイドプラス」を新設し、販路を広げている。

2代目の井戸端康宏社長(55)は「5本指ははきにくい」というイメージをどう取り除くかが普及への課題だった」と振り返る。足指が入りやすいよう、指先部分を広くする一方で、快適なはき心地を実現するには、適度なフィット感も必要だった。

そこで開発したが、足指を締め付けすぎないように、ゴム糸を使わずにすれにくくする特殊な編み方だ。大きめに編んで工場洗濯、乾燥して縮ませてから出荷し、家での洗濯でさらに縮まないようにするなどの工夫も凝らす。

国内靴下市場での5本指製品の占有率は約8%に成長した。今後は、ヨガブームが始まった中韓のほか、欧米など海外市場の開拓にも力を入れる。井戸端社長は「足指の快適さを求めるのは万国共通。丁寧につられた日本ならではの商品を楽しんでもらいたい」と話す。